マイナンバー保険証問題の本質と運動の課題

第33回 豊かな高齢期をめざす東京のつどい 第3学習講座

講師 寺尾 正之 さん
（財団法人　日本医療総合研究所　研修委員）

健康保険証の新規発行が昨年12月2日で停止され、マイナ保険証に一本化するという政府の方針は様々な混乱を呼んでいます。「任意」のはずが「強制」のようになってしまったマイナ保険証。多くの国民が、マイナ保険証をもっていないと医療を受けられないのでは、とマイナ保険証の発行を急ぎました。 様々なトラブルが発生し、国民も医療機関も自治体や健保組合などでも大混乱が懸念されています。健康保険証の発行が停止されることは国民皆保険をこわすこと。どんな問題が起きるのか、そして、マイナンバー問題の本質はなにか、どんな運動が求められているのか。

2025年3月6日(木)

14時00分～16時00分

豊島区東部区民事務所

（山手線「大塚駅」北口徒歩5分・
豊島区北大塚1-15-10

参加費 学習講座のみ参加される方は500円
（2月26日のゆたかな高齢期をめざす東京のつどい全体会に参加された方は、配布された講座参加票をお持ちいただければ参加できます）

Web配信予定 Youtubeによる簡易配信を行います。
（視聴無料）配信URL：https://x.gd/2025kouza3

主　催　日本高齢者大会と第33回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどいを成功させる東京実行委員会
連絡先　東京高齢期運動連絡会　☎ 03-5956-8781
✉ tokyo.koureiki@gmail.com
ホームページ　https://x.gd/tsudoi